

令和3年度

事業目標と結果 (事業所名：生活介護事業所ひかり)

(全体総括)

前期からさらに1名の重度者支援加算取得者が追加となり、予算収入を安定的に増収させることができた。  
 次年度からも受給者証更新により1名の新規加算取得者も確定していることから、支援シートの作成準備にはいつている。  
 次年度においては、サービス管理責任者や強度行動障がい支援者の基礎及び実践課程をクリアする職員を増やしていくため、対象となる職員に対して改めて制度説明と意識的な現場での実践と指導に力を入れていく。

課題・重点	目標項目	目標水準	結果	次年度へ向けて
生きがいを創出する実行力と、専門性のある支援力を兼ね備えた職員が足りない。	プレゼンの機会をつくる	10回	毎月の会議において、業務改善の視点と考えを話し合えることも一つの機会になった	資格要件を満たす者を増やしながら、学びを他職員に発信できる場を設けていく。
集団で行う行事等が多く、個人を対象とした個別支援が乏しい。	アクティビティを増やす	50種	今期、新たな活動メニューは増やせなかった	次年度以降も同じ方向性で事業推進してくれることになっている。
地域に対して、こちらができることはないか、わかっていない。	地域行事に参加する	6行事	コロナ禍により地域行事が実施されなかったため、今期は役員会に出席のみ	現状では新型コロナウイルス蔓延防止の観点から接触や集会的な行事等は難しいと思われるため、独自でできることを考える。



令和3年度（1月～3月）会議・委員会 事業所名：生活介護事業所ひかり

会議

会議名	開催日	参加者	主な議題
給食会議	R4.1.11	長田施設長、木村施設長、岡本主任、本田看護師、柳浦主任	・次月の献立について ・検食簿の内容（意見）について検討 ・次月イベントについて
アメーバ部門会議（職員会議）	R4.1.18	長田施設長、岡本主任、本田、矢部、倉田、山本、梶川、新谷	・連絡事項について ・協議案件について ・アメーバ経営部門ミーティング
プラン会議	R4.1.19	長田施設長、岡本主任、本田、矢部、倉田、山本、梶川、新谷	・現状と支援内容について（サービス担当者会議） ・次月モニタリング利用者の評価について
花月リーダー会議	R4.1.28	旭施設長、長田施設長、岡本主任、仲村主任、小林主任	・生活介護事業所としての連絡事項について ・グループホームとしての連絡事項について
給食会議	R4.2.8	長田施設長、木村施設長、岡本主任、本田看護師、柳浦主任	・次月の献立について ・検食簿の内容（意見）について検討 ・次月イベントについて
アメーバ部門会議（職員会議）	R4.2.16	長田施設長、本田、河村、矢部、倉田、山本、梶川、新谷	・連絡事項について ・協議案件について ・アメーバ経営部門ミーティング
プラン会議	R4.2.17	長田施設長、本田、河村、矢部、倉田、山本、梶川、新谷	・現状と支援内容について（サービス担当者会議） ・次月モニタリング利用者の評価について
花月リーダー会議	R4.2.25	旭施設長、長田施設長、岡本主任、仲村主任、小林主任、吉田主任	・生活介護事業所としての連絡事項について ・グループホームとしての連絡事項について
給食会議	R4.3.8	木村施設長、岡本主任、柳浦主任	・次月の献立について ・検食簿の内容（意見）について検討 ・次月イベントについて
アメーバ部門会議（職員会議）	R4.3.15	長田施設長、本田、河村、倉田、山本、梶川、新谷	・連絡事項について ・協議案件について ・アメーバ経営部門ミーティング
プラン会議	R4.3.15	岡本主任、河村、矢部、倉田、山本、梶川、新谷	・現状と支援内容について（サービス担当者会議） ・次月モニタリング利用者の評価について
花月リーダー会議	R4.3.25	旭施設長、古島施設長、岡本主任、高山主任、仲村主任、小林主任、吉田主任	・生活介護事業所としての連絡事項について ・グループホームとしての連絡事項について ・次年度体制について

委員会

委員会名	開催日	参加者	主な議題
感染対策委員会	R4.1.18	長田施設長、岡本主任、本田、矢部、倉田、山本、梶川、新谷	・感染症発症状況について ・新型コロナウイルス関連情報について ・資材確認
事故予防委員会 安全委員会	R4.1.18	長田施設長、岡本主任、本田、矢部、倉田、山本、梶川、新谷	・ヒヤリハットの報告、改善策について ・喀痰吸引の実施状況等について
虐待防止委員会 身体拘束廃止適正化委員会	R4.1.18	長田施設長、岡本主任、本田、矢部、倉田、山本、梶川、新谷	・虐待を防止し、権利擁護に配慮した支援について 日頃のふりかえり
苦情解決委員会	R4.1.18	長田施設長、岡本主任、本田、矢部、倉田、山本、梶川、新谷	・気づかない相談、苦情について ・相談、苦情に対する支援について
感染対策委員会	R4.2.16	長田施設長、本田、河村、矢部、倉田、山本、梶川、新谷	・感染症発症状況について ・新型コロナウイルス関連情報について ・資材確認
事故予防委員会 安全委員会	R4.2.16	長田施設長、本田、河村、矢部、倉田、山本、梶川、新谷	・ヒヤリハットの報告、改善策について ・喀痰吸引の実施状況等について
虐待防止委員会 身体拘束廃止適正化委員会	R4.2.16	長田施設長、本田、河村、矢部、倉田、山本、梶川、新谷	・虐待を防止し、権利擁護に配慮した支援について 日頃のふりかえり
苦情解決委員会	R4.2.16	長田施設長、本田、河村、矢部、倉田、山本、梶川、新谷	・気づかない相談、苦情について ・相談、苦情に対する支援について
感染対策委員会	R4.3.15	岡本主任、河村、矢部、倉田、山本、梶川、新谷	・感染症発症状況について ・新型コロナウイルス関連情報について ・資材確認
事故予防委員会 安全委員会	R4.3.15	岡本主任、河村、矢部、倉田、山本、梶川、新谷	・ヒヤリハットの報告、改善策について ・喀痰吸引の実施状況等について
虐待防止委員会 身体拘束廃止適正化委員会	R4.3.15	岡本主任、河村、矢部、倉田、山本、梶川、新谷	・虐待を防止し、権利擁護に配慮した支援について 日頃のふりかえり
苦情解決委員会	R4.3.15	岡本主任、河村、矢部、倉田、山本、梶川、新谷	・気づかない相談、苦情について ・相談、苦情に対する支援について

令和3年度

事業目標と結果

(事業所名：共同生活援助事業所ホームピンネ)

(全体総括)

年度末の人事異動等によって、次年度に向けてのアクションが遅くなってしまった。それでも、今まで築き上げた知識・経験値をもとに個々の職員が見通しを持ちながら且つ、考えながら行動する力が備わって来たものと思われる。一番大きな変化としては、『アクションを起こす事』。そこから、課題を見つけ、より良いものを築いていこうという前向きの姿勢となった。その出来事として、退職者が出た際、その人員をどのようにみんなでカバーしていこうかや、どのように協力していただくかという前向きな意見が出るようになった。そのように、いざ人員が補充された時には目的をもって指導する事が出来ている。次年度においても、コロナ関連の動きには敏感にならなくてはならないと思われる。利用者様のさらなる生活の質の向上を図っていこうという気持ちを持ち続けていきたいと思う。

課題・重点	目標項目	目標水準	結果	次年度へ向けて
介護に対する知識と知る機会が少ない。	・介護力向上研修の実施	・年間6回実施 ・実施毎の理解度確認80点以上	未実施 ⇒権利擁護・虐待防止・身体拘束に関わる研修に振り分けた	障がい者の高齢化の課題は常に付きまとう。その為、引き続き介護面に対する知識向上を図っていく事が重要である。
障がいサービス提供において、利用者様に対する権利擁護に対する想いが薄い。	・権利擁護伝達研修の実施 ・個人面談の実施	・年間3回(5月,11月,2月) ・習熟度確認結果良が職員全体の80%	・権利擁護・虐待防止・身体拘束に関する研修実施 ・個別面談については、各担当者にて毎月実施出来ている	・継続及び見通しをもって立案、計画していく事とする。
利用者様に想いに対し、アクションを起こす機会が少ない。	・個別支援(余暇活動)の実施	・希望に基づく内容での年2回の実施	・周辺地域への外出頻度は増えた。しかし、感染状況においては引き続き注意が必要なため、棟内及びホームピンネ内で出来る事として実施した	・感染増＝自粛という考え方も持ちつつ、withコロナの考え方も持ちながら都度社会情勢に合わせた対応を心掛ける事が重要。
職員同士の想いを共有する機会が少ない。	・職員全体集会の実施	・12回(月1回) ※参加率の確認	・社内活動は増えた事で仲間意識は広がった。年間を通してみると、コロナ関連が付きまとい動きにくい部分があった。社外活動の必要性も感じる年となった	・部門会議の方法については、新体制で模索するが、こういった繋がりには継続していく事が必要である。



## 【運営報告】

事業所名： ホームピンネ（ぽえむ）

項目	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
基準人数		600	620	600	620	620	600	620	600	620	620	560	620	7,300
延利用人数	R2	594	603	599	617	574	586	612	597	614	601	556	616	7,169
	R3	595	601	597	612	606	596	616	594	605	587	558	616	7,183
稼働率	R2	99.0%	97.3%	99.8%	99.5%	92.6%	97.7%	98.7%	99.5%	99.0%	96.9%	99.3%	99.4%	98.2%
	R3	99.2%	96.9%	99.5%	98.7%	97.7%	99.3%	99.4%	99.0%	97.6%	94.7%	99.6%	99.4%	98.4%
事業活動収入計	R2	5,265	5,339	5,287	5,421	5,145	5,202	5,404	5,379	5,963	5,324	5,152	5,420	64,301
	R3	5,064	5,157	5,150	5,249	5,338	5,267	5,391	5,250	5,455	5,190	5,009	5,398	62,917
当期資金収支差額		1,546	620	866	686	997	1,005	1,097	757	1,146	856	675	-104	10,145
職員数	40時間	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	-
	パート	5	5	5	5	5	5	4	4	4	4	4	4	-



令和3年度（1月～3月） 会議・委員会 事業所名：共同生活援助事業所ホームピンネ

会議

会議名	開催日	参加者	主な議題
花月ピンネリーダー会議	R4.1.7 R4.2.4 R4.3.4	旭施設長・仲村主任・小林主任・吉田主任	・アメーバ経営について ・今月の予定の確認 ・各棟から報告 ・行事活動について ・ひかりとの協力体制についての確認 等
花月リーダー会議	R4.1.28 R4.2.25 R4.3.25	長田施設長・旭施設長・岡本主任・仲村主任・小林主任・吉田主任	・協力体制についての確認 ・予定の確認
みらい会議	R4.1.21 R4.2.18 R4.3.18	旭施設長・仲村主任・職員	・予定の確認 ・利用者対応について ・委員会等の引継ぎ ・事業計画、本部の動向等についての説明及び確認
ぼえむ会議	R4.1.19 R4.2.16 R4.3.16	旭施設長・小林主任・棟職員	・予定の確認 ・利用者対応について ・委員会等の引継ぎ ・事業計画、本部の動向等についての説明及び確認
らいむ会議	R4.1.20 R4.2.17 R4.3.17	旭施設長・吉田主任・棟職員	・予定の確認 ・利用者対応について ・委員会等の引継ぎ ・事業計画、本部の動向等についての説明及び確認
部門会議（共有）	R4.1.18 R4.2.15 R4.3.15	旭施設長・全棟職員	・採算表（全棟）の確認及び、取組課題と評価についての説明
部門会議（発表）	R4.1.31 R4.2.28 R4.3.31	旭施設長・全棟職員	・次月取組課題の発表及び当該月の評価説明
コロナ対策会議	毎週月曜日	施設長 本田看護師 各棟職員	・感染状況の確認と、帰省及び外出ルールの確認

委員会

委員会名	開催日	参加者	主な議題
苦情委員会	R4.1.12 R4.2.9 R4.3.9	旭施設長・全棟職員	・当月苦情案件の報告 ・ヒヤリハット報告 ・事故報告
虐待防止委員会	R4.1.12 R4.2.9 R4.3.9	旭施設長・全棟職員	・虐待案件の確認 ・虐待防止に関わる報告 ・内部研修（虐待防止・権利擁護）の内容確認
事故防止委員会	R4.1.12 R4.2.9 R4.3.9	旭施設長・全棟職員	・事故報告 ・ヒヤリハット報告
感染症委員会	R4.1.11 R4.2.8 R4.3.8	旭施設長・全棟職員	・感染防止に関わる各事業所の取組み内容の報告 ・所轄管内の感染症に関わる動向の確認 ・感染状況（管内及び他事業所）の確認

令和3年度（1月～3月） 研修

事業所名：共同生活援助事業所ホームピンネ

研修

研修名	実施日	参加者	内容
アンガーマネジメント	R4.1.12	12名	怒りのコントロールと職員のメンタルヘルスについて
虐待防止	R4.2.9	11名	委員会と虐待防止責任者の役割について
身体拘束	R4.3.9	15名	行動制限の廃止と支援の質の向上について

令和3年度（1月～3月） 行事 事業所名： 共同生活援助事業所ホームピンネ

行事

行事名	開催日	参加人数	参加者
初詣外出	R4.1.4	29名	参加希望者
雪あそび	R4.1.22	58名	全利用者
節分会食	R4.2.3	58名	全利用者
各棟疲れ様会	R4.3.18	58名	全利用者

令和3年度 第4四半期

事業目標と結果

(事業所名：共同生活援助事業所 あおば)

(全体総括)

R3年度スタートから、職員が1名退職となり元々常勤換算数ギリギリで行っていた為、事業計画遂行に  
 関しうまくいかないスタートだった。しかし、年度途中より業務管理に関する項目など修正していく情報  
 共有や業務管理など別のツールを使用し職員も意識して行える改革になった。  
 個々の標準となる目標については、目標のA評価100%には届かなかったが、4月より開始した頃よりB  
 評価がA評価に変更される部分もあり、職員数が少ない中でも各職員毎で意識し努力した結果だったと感  
 じた。

課題・重点	目標項目	目標水準	結果	次年度へ向けて
・利用者の特性や必要な支援内容を十分に把握すること。	・担当利用者の個別支援計画を作成します。	40H全職員(5人) プラン実施率100%	40H全職員 プラン実施率100%	管理者変更の為、新管理者の事業目標内容とする
・職員個々の支援力を強化すること。	・色々な事を体験しながら、業務力と支援力を身に付けます。	A評価100%	A評価65%	
・業務管理とスケジュール管理が出来るようになること。 ・情報共有出来るようになること。	業務管理ツール、行動予定表、月間予定表(PC)を活用する。	40H全職員 ①～④実施率100%	40H全職員 ①～④実施率100%	

## 【運営報告】

事業所名： あおば

項目	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
基準人数		750	775	750	775	775	750	775	750	775	775	700	775	9,125
延利用人数	R2	696	684	677	704	699	678	693	685	697	674	623	708	8,218
	R3	747	765	737	742	733	680	684	687	713	699	644	710	8,541
稼働率	R2	92.8%	88.3%	90.3%	90.8%	90.2%	90.4%	89.4%	91.3%	89.9%	87.0%	89.0%	91.4%	90.1%
	R3	99.6%	98.7%	98.3%	95.7%	94.6%	90.7%	88.3%	91.6%	92.0%	90.2%	92.0%	91.6%	93.6%
事業活動収入計	R2	5,216	5,053	5,013	5,232	5,160	5,133	5,529	8,774	5,551	5,222	4,938	2,577	63,397
	R3	5,465	6,048	5,690	5,761	5,690	5,241	5,460	5,503	5,835	5,589	5,273	5,722	67,278
当期資金収支差額		-579	-298	22	-357	-161	-492	-779	-444	-1,240	-127	39	-397	-4,814
職員数	40時間	6	6	5	5	5	5	4	4	5	5	4	4	-
	パート	8	8	8	9	9	9	10	10	9	7	7	7	-

令和3年度（1月～3月）会議・委員会 共同生活援助事業所あおば

会議

会議名	開催日	参加者	主な議題
モニタリング会議	R4.1.24	原田	・利用者の状況報告と相談事業所へ報告及び協議
全体会議	R4.1.25	後藤・入井 原田・戸田 得地・二川	・次月予定と各GHチームの実施内容報告 ・各問題についての協議
世話人会議	R4.1.26	二川	・ユニット内での情報共有と変更点について協議
モニタリング会議	R4.2.3	後藤	・利用者の状況報告と相談事業所へ報告及び協議
全体会議	R4.2.25	後藤・森川 原田・入井 得地・二川	・次月予定と各GHチームの実施内容報告 ・各問題についての協議
全体会議	R4.3.30	後藤・森川 原田・入井 得地・二川	・今年度の反省について

委員会

委員会名	開催日	参加者	主な議題
障害グループ管理者連絡会	R4.1.17	後藤	・1月における各事業所報告とその他の協議について
感染対策委員会	R4.1.18	後藤・原田 二川・入井 得地・森川	・1月における定期感染対策委員会について
虐待防止委員会 苦情解決委員会	R4.1.25	後藤・原田 二川・入井 得地・森川	・虐待セルフチェック実施
感染対策委員会	R4.2.16	後藤・原田 二川・入井 得地・森川	・2月における定期感染対策委員会について
障害グループ管理者連絡会	R4.2.28	後藤	・2月における各事業所報告とその他の協議について
虐待防止委員会 苦情解決委員会	R4.2.25	後藤・原田 二川・入井 得地・森川	・1月～2月における利用者の支援について
感染対策委員会	R4.3.16	原田・二川 入井・得地 森川	・3月における定期感染対策委員会について

令和3年度

事業目標と結果

(事業所名：ジョブサポートフレーバーカントリー)

(全体総括)

登録利用者数 19名 年間平均稼働率 95.9%  
 上半期は登録人数22名在籍しており、一昨年製造が中止していた塩辛の販売も好調だった為、予定通りの収入を得ることが出来た。しかし、下半期に入り利用者数が減少した事やイカの漁獲量減少に伴い、塩辛の原料が不足する事態に追い込まれ製造する事が出来なかった為、予定の収入を得る事は出来なかった。また委託部門で受けていた内職（エリエール）の製品も次年度は大幅に減少する事から今までとは異なる作業種が必要になる。現段階では事業所近隣で農作業を実施する事が決定しており、継続して実施できるように対応していく。また塩辛に変わる新たな事業として餃子若しくはタイ焼きの販売を目指しており、こちらも令和4年度の上半期のうちに形にする予定である。

課題・重点	目標項目	目標水準	結果	次年度へ向けて
フレーバーカントリーのイメージはどうか？  →楽しんでいれることをみんなに知ってもらおう！	フレーバーカントリーの魅力をたくさん発信する	・ SNSアップ 1回/日以上 ・ インスタフォロー 1000件 ・ ブログアップ 1回/週以上	・ SNSアップは下半期は毎日アップは出来ている。 ・ インスタフォロー数は1000件には及んでいないが、毎日アップした事で件数は現在も伸びている。 ・ ブログも毎週アップしている。	・ SNSでの発信は今年度力を入れて実施する事が出来た。新規のご利用者様からも見学前に閲覧して頂いた様で興味が湧かれた様子。またインスタ、ブログ共に使用している事業所もありないと思うので次年度も引き続き実施していきたい。
毎日が同じことの繰り返しになっていないか？	仕事にメリハリをつける	・ 延べ人数 5240人 ・ 年休取得 10日以上/年	・ 延べ人数 5059人 (4月～12月) ・ 年休取得 全職員10日以上取得	・ 延べ人数は僅かながら目標値は達成する事が出来なかった。下半期に5名減になった事が響いている。登録人数が2名増加になった事と待機者もいる事から更に増加が見込まれる状況。 ・ 年休消化は全職員10日以上取得出来ており達成。
コロナウィルスのせいにしてないか？ この社会情勢だから出来る事を考える！ →無いものは自分たちで創ろう！	食をテーマに法人内でのプチイベントを開催する	・ イベント売り上げ 総額300,000円以上	・ イベント売り上げ (4月～3月) 385,900円	・ コロナの影響で3月に予定していた移動販売は中止になってしまったが、年間通しての売り上げは目標値を達成する事が出来た。 次年度も町内外のイベントの実施は不透明な為、事業所内で出来る事を実施していく。



令和3年度（1月～3月） 会議・委員会 事業所名：ジョブサポート フレーバーカントリー

会議

会議名	開催日	参加者	主な議題
職員会議	R4.1.27	木村、柳浦、千葉 山本、佐山	・利用者の状況について ・新規利用者の獲得に向けて ・来年度の体制について（塩辛に変わる対応策）
職員会議	R4.2.24	木村、南部、柳浦 千葉、山本、佐山	・来年度について（塩辛に変わる対応策、委託部門の作業種について） ・利用者の状況について ・翌月の行事について
職員会議	R4.3.16	木村、南部、柳浦 千葉、山本、佐山	・来年度について（体制・年間計画・弁当販売について） ・利用者の状況について ・翌月の行事について
給食会議	R4.1.11	長田、岡本、本田 （ひかり） 木村、柳浦 （フレーバー）	・献立、行事食の確認。 ・検食簿の確認 ・利用者個別案件
給食会議	R4.2.8	長田、岡本、本田 （ひかり） 木村、柳浦 （フレーバー）	・献立、行事食の確認。 ・検食簿の確認 ・利用者個別案件
給食会議	R4.3.8	岡本 （ひかり） 木村、柳浦 （フレーバー）	・献立、行事食の確認。 ・検食簿の確認 ・利用者個別案件
新規事業会議	R4.2.4 R4.2.11	木村、南部、柳浦 千葉、山本、佐山	・塩辛製造に変わる新たな事業に向けての会議

委員会

委員会名	開催日	参加者	主な議題
感染症対策委員会	R4.1.27	木村、柳浦、千葉 山本、佐山	・コロナウイルス感染症について ・他事業所の感染状況について
感染症対策委員会	R4.2.24	木村、南部、柳浦 千葉、山本、佐山	・コロナウイルスの状況について ・3回目のワクチン接種について ・抗原検査キットについて
感染症対策委員会	R4.3.16	木村、南部、柳浦 千葉、山本、佐山	・コロナウイルス感染症について
苦情解決・虐待防止委員	R4.1.27	木村、柳浦、千葉 山本、佐山	・苦情虐待案件について ・ご利用者様への対応、言葉遣いについて
苦情解決・虐待防止委員	R4.2.24	木村、南部、柳浦 千葉、山本、佐山	・苦情虐待案件について
苦情解決・虐待防止委員	R4.3.16	木村、南部、柳浦 千葉、山本、佐山	・苦情虐待案件について
事故防止再発委員会	R4.1.27	木村、柳浦、千葉 山本、佐山	・事故案件について ・ヒヤリハットについて
事故防止再発委員会	R4.2.24	木村、南部、柳浦 千葉、山本、佐山	・事故案件について ・ヒヤリハットについて
事故防止再発委員会	R4.3.16	木村、南部、柳浦 千葉、山本、佐山	・インシデント報告について
イベント実行委員会	R4.1.12	木村、柳浦、千葉	・町内フォトコンテストの応募に向けての雪像作りについて

令和3年度（1月～3月） 行事 事業所名：ジョブサポートフレーザーカントリー

行事

行事名	開催日	参加人数	参加者
・雪像作り	R4.1.15	13名	・利用者 10名 ・職員 3名
・雪像作り	R4.1.29	13名	・利用者 10名 ・職員 3名
・節分	R4.2.3	23名	・利用者 17名 ・職員 6名
・お茶会（永年勤続のお祝いも兼ねて）	R4.3.9	23名	・利用者 18名 ・職員 5名

令和3年度

事業目標と結果 (事業所名:放課後等デイサービスきつずでいここ)

(全体総括)

卒業される児童もおり(目標に達成したため卒業となる)新規児童受入が可能となり体験利用を通して利用開始になった方がおり、待機児童も8名から3名まで減らすことができた。  
新規利用の方も利用開始からアンケートを実施しているが満足度平均86%となっている。  
今後はアンケート結果を踏まえ、各活動室のプログラムの見直しや環境面の変化などを行っていき、さらなるサービス向上に努める。

課題・重点	目標項目	目標水準	結果	次年度へ向けて
活動は定着しているが、ご家族さんへ日々の取り組み内容発信が不足しており取り組みを具体的に知らない家族もいる	ご家族が事業所の取り組みを、さらに知ることによって「うちの子ここに通って取り組んだら出来るようになった」と実感・満足がさらに出来るようになる	①個別課題満足度80%以上 ②はなまる会満足度80%以上	①87% ②81% ※アンケート結果に基づく数値	①アンケート結果を踏まえたプログラム内容の検討 ②クラス編成の検討
主となっているサービスの1つ(個別課題)が外部委託の専門職によって質の確保ができており、現状はスキルを買っている状態になっている	法人内に専門職がいることにより、顧客に継続的・安定的なサービスを提供出来るようになる	作業療法士 臨床心理士 言語聴覚士 いずれか1名採用	採用 0名	①委託契約の継続 ②今後の方向性や専門職の配置の検討

## 【運営報告】

事業所名： きっずでいここ

項目	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
基準人数		214	205	229	219	195	218	206	210	206	200	205	200	2,507
延利用人数	R2	210	134	225	259	219	224	249	211	215	201	185	208	2,540
	R3	193	173	200	194	182	197	201	192	191	181	131	157	2,192
稼働率	R2	98.1%	65.4%	98.3%	118.3%	112.3%	102.8%	120.9%	100.5%	104.4%	100.5%	90.2%	104.0%	101.3%
	R3	90.2%	84.4%	87.3%	88.6%	93.3%	90.4%	97.6%	91.4%	92.7%	90.5%	63.9%	78.5%	87.4%
事業活動収入計	R2	2,128	1,459	2,636	2,727	2,406	2,482	2,624	2,785	2,283	2,122	1,984	1,928	27,567
	R3	1,989	1,771	2,043	2,065	1,892	2,097	2,084	1,962	2,038	1,924	1,358	1,640	22,863
当期資金収支差額		74	-320	86	-85	-133	34	31	-122	-741	-231	-729	-770	-2,905
職員数	40時間	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	-
	パート	5	5	5	5	5	5	5	5	6	6	6	6	-

令和3年度（1月～3月） 会議・委員会 事業所名：放課後等デイサービスきつずでいここ

会議

会議名	開催日	参加者	主な議題
職員会議	R4.1.17	古島・高山・澤田 吉田・加藤・畑	・利用状況の確認 ・各クラスの療育内容の評価について
職員会議	R4.1.24	古島・高山・澤田 加藤・山本・畑	・各クラスの活動報告 ・アンケート結果からの今後の対応について ・学校からの情報提供内容の共有
職員会議	R4.2.14	古島・高山・澤田 山本・畑	・利用児童の利用状況の確認 ・新規利用者の様子や今後について
職員会議	R4.2.21	古島・高山・澤田 吉田・畑	・高学年児童の状況の確認 ・体験利用の内容の検討 ・各クラスでの取り組み内容の評価について
職員会議	R4.3.7	古島・高山・澤田 吉田・山本	・低学年児童の状況の確認 ・新規利用児童の検討 ・活動プログラムの評価について
職員会議	R4.3.28	古島・高山・澤田 畑、山本	・新規利用開始児童の状況について ・冬休みの活動内容の検討について
ケース会議	R4.1.20	古島・高山・澤田	・該当児童の支援の評価及び今後の対応について
ケース会議	R4.2.17	古島・高山・澤田	・該当児童の支援の評価及び今後の対応について
ケース会議	R4.3.16	古島・高山・澤田	・該当児童の支援の評価及び今後の対応について

委員会

委員会名	開催日	参加者	主な議題
感染予防委員会	R4.1.17	古島・澤田・高山	・月間目標の決定 ・地域のコロナの状況の確認 ・
虐待防止、苦情委員会	R4.1.24	古島・澤田・高山	・事案の有無の確認 ・保護者からの要望等の確認
感染予防委員会	R4.2.14	古島・澤田・高山	・月間目標の評価 ・地域のコロナの状況の確認 ・コロナが発生した場合のシュミレーションについて
虐待防止、苦情委員会	R4.2.21	古島・澤田・高山	・事案の有無の確認 ・保護者からの要望等の確認
感染予防委員会	R4.3.7	古島・澤田・高山	・月間目標の評価 ・地域のコロナの状況の確認 ・感染対策の再確認
虐待防止、苦情委員会	R4.3.28	古島・澤田・高山	・事案の有無の確認 ・保護者からの要望等の確認

令和3年度

事業目標と結果

(事業所名：総合相談窓口虹)

(全体総括)

職員の休職などにより事業計画に記載されている事柄について実施することが出来なかった。しかし、事業所全体会議の中で分野外の制度、利用者像、ケアマネジメントの特徴を学び、障害福祉サービスから介護保険サービスへの移行について共有することができた。

課題・重点	目標項目	目標水準	結果	次年度へ向けて
<p>○問題 担当する分野以外の制度についての知識、情報が少ないので対応できない。</p> <p>○アクション 必要な知識や情報を学ぶ。</p>	○振り返りテスト	○振り返りテスト： 平均80点	振り返りテストについては未実施であるが、全体会議を毎月開催することで障害福祉サービスから介護保険制度へ移行する事例を基に各制度の役割について共有することができた。	障害福祉サービスと介護保険サービスを併用しているケースについて共同で関わる機会があり、互いに学び得るものがあった。居宅介護支援事業所、相談支援事業所が同一事務所内で運営されていることは他にはない強みである。次年度はその強みを活かし、相談援助体制の整備と強化に努めていく。
<p>○問題 相談に対する対応が制度上のサービスへの紹介が中心となり、困りごとに対する選択肢が少ない。</p> <p>○アクション 保険外サービスについて学ぶ。</p>	○地域の困りごとを把握	○調査報告書の作成	地域の困りごとの把握を目的とした行動を起こすことはできなかった。しかし、全体会議の中でインフォーマルサービスについて意見交換を行うことができた。	地域の困りごと、保険外サービスについて知り、対応の選択肢を広げることができなかった。次年度もフォーマル、インフォーマルなサービスを組み合わせたケアマネジメントに努める。





令和3年度（1月～3月） 会議・委員会 事業所名：居宅介護支援事業所 虹

会議

会議名	開催日	参加者	主な議題
虹全体会議	R4.1.18	笹木、鈴木、後藤、古島	居宅：前月実績報告、ケースの動向、その他 相談：新規ケースの報告、ケースの動向、基幹相談支援センター業務について、近郊事業所について、その他 全体：アクションプラン・採算表について
虹全体会議	R4.2.17	笹木、鈴木、後藤、古島	居宅：前月実績報告、ケースの動向、その他 相談：新規ケースの報告、ケースの動向、基幹相談支援センター業務について、近郊事業所について、その他 全体：アクションプラン・採算表について
虹全体会議	R4.3.17	笹木、鈴木、大槩、後藤、古島	居宅：前月実績報告、ケースの動向、その他 相談：新規ケースの報告、ケースの動向、基幹相談支援センター業務について、近郊事業所について、その他 全体：アクションプラン・採算表について

令和3年度（1月～3月） 会議・委員会 事業所名：相談支援事業所 虹

会議

会議名	開催日	参加者	主な議題
虹全体会議	R4.1.18	笹木、鈴木、後藤、古島	居宅：前月実績報告、ケースの動向、その他 相談：新規ケースの報告、ケースの動向、基幹相談支援センター業務について、近郊事業所について、その他 全体：アクションプラン・採算表について
虹全体会議	R4.2.17	笹木、鈴木、後藤、古島	居宅：前月実績報告、ケースの動向、その他 相談：新規ケースの報告、ケースの動向、基幹相談支援センター業務について、近郊事業所について、その他 全体：アクションプラン・採算表について
虹全体会議	R4.3.17	笹木、鈴木、大槩、後藤、古島	居宅：前月実績報告、ケースの動向、その他 相談：新規ケースの報告、ケースの動向、基幹相談支援センター業務について、近郊事業所について、その他 全体：アクションプラン・採算表について